

わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

地域包括ケアシステムを支える人々

介護が必要になり、自宅での生活を続ける為のサービスと聞いて思い浮かぶのは、自宅にヘルパーが行く訪問介護だと思えます。けれども地域密着型サービスの1つとして、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」というサービスがある事をご存知でしょうか。



私たち、「イリーゼ諏訪定期巡回・随時対応型訪問介護看護センター」は、1日に複数回の定期巡回での訪問と、利用者から通報を受けて訪問する随時対応を24時間365日提供する、定期巡回・随時対応サービスを行っている事業所です。訪問看護については、一体型の事業所と連携型の事業所の2種類があり、イリーゼ諏訪は連携型事業所として、外部の訪問看護事業所と連携して利用者の対応を行っています。

訪問介護との違いは、要介護1~5の人が対象となり、訪問回数に関わらず利用料は介護度に応じて毎月定額である事、短時間で1日に複数回の訪問を受けられる事です。さらに電話等

での通報があれば、必要に応じて随時訪問での対応も可能です。また、訪問看護と連携しているの、いざという時は看護師に相談できます。それによって日中、夜間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的に受ける事が出来るという大きな特徴があります。例えば、独居で認知症になっ

在宅介護の「今来てほしい」に対応します

定期巡回・随時対応型訪問介護看護について

HITOWA ケアサービス株式会社
イリーゼ諏訪定期巡回・随時対応型
訪問介護看護センター長

みやした はる み
宮下 治美

<定期巡回・随時対応サービスのイメージ>



出典：関東信越厚生局 地域密着型サービスの概要より

でも住み慣れた自宅で生活を続けたい場合には次のようなことができます。毎日朝・昼・夕の食事の提供や服薬、洗濯、掃除、排泄介助、日用品の買い物、ゴミ捨て等、時間は掛からないが一人では難しくなった事を1日に何回か訪問してお手伝いすること。体が思う様に動かなくなっても、トイレ介助やオムツ交換、早朝の起床介助、夜の就寝介助等、その人に合わせて柔軟に訪問予定を組め、電話での相談や、必要な時は随時訪問すること。家族がいても、日中は一人、夜の帰りが遅いから心配だという時の安否確認をすること。こうした対応が24時間でき、利用者や家族にとって大きな安心に繋がるのではないのでしょうか。訪問先の利用者からも、「家族が遠方ではなかなか会いに来れないから、毎日様子を見に来てもらえるので安心」「必要な時に気兼ねなく呼べてありがたい」というお声を頂いています。

私たちはこれからも、本人や家族、ケアマネジャーそしてライフドアすわと連携して活動していきます。馴染みある地域の中で生活を続けたいと願う人に寄り添い、地域包括ケアシステムを構成するサービスのひとつとして、在宅医療・介護連携推進の為、皆様と共に歩んでいきたいと思っております。

(毎月第2日曜日掲載)